

令和7年度 小平第二みどり作業所 事業計画書

1 はじめに

数年来、職員の定着率が低いことが大きな課題であり、このことが事業内容の充実に大きなマイナス影響を与えてきたと考えている。チームワーク形成ができていないことが定着率の低さの大きな要因と考えており、令和5年度から、コミュニケーション、連携協働、事業目的の共有等に取り組んできた。職員13名のうち8名が入職後3年未満の職員であり、この取り組みの評価を出すのはまだ早い、6年度以降徐々にチームワークが良くなってきていると感じている。PDCAサイクルによる利用者支援は丁寧に取り組む姿勢は定着しつつあり、また、就労支援事業も新人職員の育成でベテラン職員退職の影響を最小限にとどめることができています。7年度は職員体制の充実により利用者支援、クッキー・パン製造などの更なるスキルアップを目指したい。

2 事業概要

1) 施設名	小平第二みどり作業所
2) 事業種別	就労継続支援B型
3) 所在地	東京都小平市天神町3-7-16
4) 経営主体	社会福祉法人 未来
5) 利用定員	40名
6) 利用現員	49名
7) 法人認可年月日	平成14年12月11日
8) 事業開始年月日	平成20年4月1日
9) 職員	12名（令和7年4月1日現在）
	管理者 1名 常勤1
	サービス管理責任者 1名 常勤1
	職業指導員 3名 （常勤換算3.0）
	生活支援員 6名 （常勤換算3.8）
	目標工賃達成指導員 1名 常勤1

3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
- 3) 安心と希望の持てる生活

4 基本方針

- 1) 就労支援
 - ① 利用者の個々の特性にあった就労支援事業の活性化
 - ② 生き生きと働ける職場
 - ③ 職業指導の充実
 - ④ 賃金の保障
 - ⑤ 就労移行支援の実施
- 2) 生活支援
 - ① 日中活動の支援
 - ② 豊かな生活の支援
 - ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
 - ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援
 - ⑤ 利用者への相談支援

⑥ 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① クッキー製造・販売
- ② パン製造・販売
- ③ 公園清掃
- ④ マンション清掃
- ⑤ 受注作業（ボーロ袋詰め作業等）

2) 生活支援事業

- ① 夕方生活支援事業（利用者の余暇支援事業、週2日程度実施）
- ② 音楽教室（月1回実施）
- ③ 生活支援プログラム（週3回程度、ウォーキング実施）

3) 行事

- 4月 利用者永年勤続表彰式
- 5月 運動会
- 6月 レクリエーション
- 7月 川遊び
- 8月 レクリエーション
- 9月 レクリエーション
- 10月 一泊旅行
- 11月 レクリエーション
- 12月 忘年会
- 1月 レクリエーション
- 2月 レクリエーション
- 3月 レクリエーション

6 日 課

開所・送迎・清掃	8：30～ 9：00
朝 礼	9：15～ 9：30
作 業	9：30～10：30
休 憩	10：30～10：45
作 業	10：45～11：45
片付け	11：45～12：00
昼休み	12：00～13：00
昼 礼	13：00～13：15
作 業	13：15～14：15
休 憩	14：15～14：30
作 業	14：30～15：30
終 礼	15：30～15：50
送 迎	15：50～16：30
清掃・記録等	16：30～17：00
職員打ち合わせ	17：00～17：30

7 重点課題・目標

1) 活動

- (1) PDCAサイクルの実施による利用者支援の充実

- ① 長期目標、短期目標、支援上の重点との関連付けを整理し個別支援計画作成スキルの向上を図る。(計画作成、評価において、職員間の情報及び意見交換を活発に行い、計画に活かす。)
- ② 支援方針、支援目標や目的を全職員で共有する。
- ③ 個別支援計画に基づいた支援を行い、支援経過を共有するとともに丁寧に記録し、それに基づいた評価、見直しを実施する。

(2) 就労支援事業の充実

- ① 作業指導の充実や自分に合った仕事の提供により、やりがいのある仕事を通じ、利用者一人ひとりが職業人として成長する。
- ② 職員の担当を重層的にする(各職員が複数の業務に関わり技能等を習得する)ことで、各作業が中長期的に安定して行える体制を作る。
 - ・新規採用職員を始め、全職員が全作業を経験する。
 - ・パン及びクッキー作業担当職員の定期的な配置の交換。
- ③ パン、クッキー製造など一定の技能が必要な作業については、定期的(担当全職員月2回)な練習により職員の技能向上を図る。
- ④ ①～③の実践により工賃向上を行う。

	令和6年度実績(見込)	令和7年度目標
月額平均工賃	16,000円	18,000円
※ 令和7年1月末月額平均工賃	18,415円	

⑤ 各作業における戦略と目標

ア、クッキー製造作業

- ・職員配置1日平均3名
- ・注文販売先(毎月3か所、合計900個、9万円分)の現状維持及びイベント販売への対応強化(製造能力向上)
- ・目標

	令和6年度実績(見込)	令和7年度目標
年間製造個数	28,600個	30,500個
年間売上	5,000,000円	5,200,000円
※ 令和6年12月末 製造個数	21,600個、	売上3,800,000円

イ、パン製造作業

- ・職員配置1日平均3名
- ・新商品の開発(24種類)
- ・注文販売先の新規開拓(市内学童を中心に)
- ・商品ロスの削減(店舗の売れ残り商品を出張販売にて販売する)
- ・目標

	令和6年度実績(見込)	令和7年度目標
年間製造個数	27,700個	29,700個
年間売上	4,100,000円	4,300,000円
※ 令和6年12月末 製造個数	21,200個、	売上3,100,000円

⑥ その他の作業を含めた収入目標

	令和7年度目標(円)	令和6年度実績(見込)	差額
クッキー製造事業	520万	500万	20万円
パン製造事業収入	430万	410万	20万円
清掃作業収入	190万	190万	0

受注作業収入	5 万	5 万	0
その他作業等	8 4 万	6 0 万	2 4 万円
合 計	1, 2 2 9 万	1, 1 6 5 万	6 4 万円

2) 人材確保と育成

- (1) 常勤換算 12.5 名（管理者、サビ管含む）の職員体制の安定確保
（令和 7 年 1 月末現在の職員体制から常勤職員 1 名、契約職員週 3 日程度 1 名の 2 名増）
- (2) 職員の定着率の向上
 - ・目的や成果等を明確に伝え、職員一人ひとりのやりがいを引き出す。
 - ・時間を有効活用し業務負担を軽減する（作業の進捗状況を共有し時間外勤務を軽減する など）
 - ・法人内の担当施設長（2 名）が週 1 回ミーティングに参加し、職員との意思疎通を図る。
- (3) 新人職員の育成
 - ・法人内の通所事業所にて研修を実施し、他事業所の事業内容や利用者支援の基本方針、職員間のコミュニケーションについて学ぶ。
 - ・事業所内の全作業に携わり、利用者や活動等の把握を行う。
- (4) 職員の複数担当制による相互補完体制の強化
 - ・毎月の職員会議で次月の作業スケジュールを考慮したうえ配置交換の計画を立てる。
- (5) 職員間の連携強化
 - ・共有事項等を正確に伝え、受けた側は明確な意思表示をする。
 - ・担当以外の利用者や活動等に目を向け、常に事業所全体の業務を把握し、職員同士で声掛け等をおこなう。
- (6) 目的意識の共有
 - ・施設長は業務の目的と意味、成果等を職員へ具体的に伝えるとともに、活発に意見交換を行える雰囲気づくりを行う。
 - ・職員は疑問点や課題点、良い点など自分の意見を積極的に会議等で発言する。施設長は職員からの意見等に対し迅速に対応する。
- (7) 利用者支援スキルの向上
 - ・ケース検討会議における利用者の情報共有の際、利用者の行動のみでなく、その背景や心情について考察を行う。またそれを踏まえた支援方針について協議する。

3) 経営管理

- (1) 訓練等給付費の安定確保
1 日平均利用者 40 人（50 人在籍利用率 80%）を目標とし、利用者の安定通所を図る。（令和 6 年度 1 月末実績：1 日平均利用者 37.0 人、47 人在籍—令和 7 年 1 月末現在。）
- (2) 月次試算による経営状態の把握
毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。
- (3) コスト削減
節電節水節約に務めコストの削減を行う。

8 環境の整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

9 健康管理

- 1) 新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を徹底する。

- 2) 定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

1 0 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年3回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 職業指導員および生活支援員

救助担当 職業指導員および生活支援員

1 1 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。